

平成27年度（2015年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語：英語
------	--------

受験番号	
------	--

全問題数 3 ， 問題用紙全枚数 5 ， 解答用紙全枚数 3

I. 次の英文を読み、下線部(1)～(4)を日本語に訳しなさい。†の付いた語句については注を参照しなさい。解答はすべて解答用紙に書くこと。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

平成27年度（2015年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語：英語
------	--------

受験番号	
------	--

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

【注】 gutta-percha: 生ゴムの一種

stuccoed: しっくい仕上げの

the nether regions: 下半身

neuralgia: 神経痛

【出典】 James Gleick. (2011). *The Information: A History, a Theory, a Flood* より。出題の都合上、原文の一部に変更を加えている。

平成27年度（2015年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語：英語
------	--------

受験番号	
------	--

II. 次の英文を読み、下線部(1)～(4)を日本語に訳しなさい。†の付いた語句については注を参照しなさい。解答はすべて解答用紙に書くこと。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

平成27年度（2015年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語：英語
------	--------

受験番号	
------	--

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

【注】 Sagittarius A* (Sgr A*): いて座 A* ; 銀河系の中心に存在する電波源の一つ。

quasar: 恒星状天体

event horizon: [ブラックホールの] 外縁, 境界

accretion disk: 天文学用語。本設問への解答では日本語に直さなくてよい。

hurtle: 突進する

coalesce: 癒着する

【出典】 Michael Finkel. (2014). Star Eater. *National Geographic Magazine*. (March, 2014)より。出題の都合上、原文の一部に変更を加えている。

平成27年度（2015年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語：英語
------	--------

受験番号	
------	--

III. 次の日本語を読み、下線部（イ）～（ニ）を英語に訳しなさい。解答はすべて解答用紙に書くこと。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

【出典】「学力テスト 競い合う効果に目向けよ」（「主張」）『産経ニュース』（2014.12.18）より。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

【出典】市川伸一. (2001). 『学ぶ意欲の心理学』. PHP 研究所より。出題の都合上、一部を省略している。

試験科目	外国語：フランス語
------	-----------

受験番号	
------	--

全問題数 3 , 問題用紙全枚数 4 , 解答用紙全枚数 4

I 次の文章を読んで後の問いに答えなさい

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

出典：Michel Levinet, *Droits et libertés fondamentaux*, PUF, 2010より。

- ・*¹ le paradigme : パラダイム[ものごとの見方、その枠組み]
- ・*² des instruments : ここでは「文書」の意
- ・*³ le Pacte international relatif aux droits civils et politiques : 市民的及び政治的権利に関する国際規約(国際人権規約の一部)
- ・*⁴ le Pacte international relatif aux droits économiques, sociaux et culturels : 経済的、社会的及び文化的権利に関する国際規約(国際人権規約の一部)
- ・*⁵ a priori : 先験的に、直ちに
- ・*⁶ la Charte africaine des droits de l'homme et des peuples : 人及び人民の権利に関するアフリカ憲章
- ・*⁷ la sharia : シャリア[厳格なイスラム法]
- ・*⁸ la umma : ウンマ[世界各地のイスラム共同体]

平成27年度（2015年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語：フランス語
------	-----------

受験番号	
------	--

問1 下線部(1)の意味を日本語でわかりやすく説明しなさい。

問2 下線部(2) elle が受けているものを文章中の語で答えなさい。

問3 下線部(3)の意味に最も近いものを次から選び記号で答えなさい。

- ア il est essentiel de faire le compte rendu de
- イ il est d'une importance cruciale de trouver
- ウ il est essentiel de comprendre

問4 下線部(4)assorti の意味に最も近いものを次から選び記号で答えなさい。

- ア attardé
- イ accompagné
- ウ ajouté
- エ amadoué
- オ arrangé

問5 下線部(5)を日本語に訳しなさい。

問6 下線部(6)を日本語に訳しなさい。

問7 下線部(7)au risque de の意味に最も近いものを次から選び記号で答えなさい。

- ア en s'exposant à
- イ au miroir de
- ウ en charge de
- エ à cause de
- オ au compte de

問8 下線部(8)d'envergure の意味に最も近いものを次から選び記号で答えなさい。

- ア d'urgence
- イ de par le monde
- ウ de nature
- エ de taille
- オ de la sorte

問9 下線部(9)を日本語に訳しなさい。

平成27年度（2015年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語：フランス語
------	-----------

受験番号	
------	--

II 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

- ・*¹ Île-de-France：イル・ド・フランス（フランスの首都パリを中心とした地域圏）
- ・*² le faubourg Saint-Germain：サン・ジェルマン街（昔のパリの地区）
- ・*³ la libération：1944年、ドイツの敗北によって起きたフランス解放。
- ・*⁴ Neuilly-sur-Seine：ヌイイ・シュル・セーヌ（パリ西部近郊にある都市、コミューン。高級住宅街として知られる。）

出典：Michel Pinçon et Monique Pinçon-Charlot, *Les ghettos du gotha*, Ed. du Seuil, 2007より。

- 問1 下線部(1)が指している内容を文中から探し出して、抜き書きしなさい。
- 問2 2カ所の（ ② ）には同じ関係代名詞が使われている。その関係代名詞を書きなさい。
- 問3 下線部(3)の一文（« Le corps... d'autrui. »）を日本語に訳しなさい。
- 問4 (4)autruiの単語とほぼ同じ意味で使われている単語を文章から抜き出して答えなさい。
- 問5 下線部(5)の一文が意味する内容を、「Ces expériences」が意味することを示しながら、80字ー100字で具体的に説明しなさい。

平成27年度（2015年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語：フランス語
------	-----------

受験番号	
------	--

III 下の文章をフランス語に訳しなさい。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

出典：NHK News Web「訪日外国人2000万人への課題」より。
http://www3.nhk.or.jp/news/web_tokushu/2015_0123.html

(2015年1月23日アクセス)

平成27年度(2015年度)大学院国際言語文化研究科博士課程(前期課程)
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語 : 日本語
------	-----------

受験番号	
------	--

全問題数 2 , 問題用紙全枚数 4 , 解答用紙全枚数 2

問題I 次の文章を読んで、次のページの設定問に答えなさい。解答はすべて別紙の解答用紙に日本語で記すこと。

<p>著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。</p>
--

(次のページに続く)

平成27年度（2015年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語：日本語
------	---------

受験番号	
------	--

(前のページの続き)

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(橋本 治 (2005) 『「わからない」という方法』 集英社新書、pp. 51-53)

問題I

問1. 下線部 (1) ~ (5) の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

問2. 下線部 (ア) ~ (エ) の言葉の意味を述べなさい。

問3. 下線部 (A) から (C) について以下の質問に答えなさい。

(A) 下線部 (A) のこのとは、何を指しているか説明しなさい。

(B) 下線部 (B) のこの「へん」という位置づけとはどのようなことか説明しなさい。

(C) 下線部 (C) の自分のもっている特性とは何か、本文の内容から類推して説明しなさい。

問4. 下線部 (D) について以下の質問に答えなさい。

筆者は、「へん」というものは、持ちこたえれば、十分な美点に変わると述べているが、それは「へん」のどのような性質によるものか説明しなさい。

平成27年度（2015年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語：日本語
------	---------

受験番号	
------	--

問題II 次の文章を読んで、次のページの設問に答えなさい。解答はすべて別紙の解答用紙に日本語で記すこと。

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(次のページに続く)

平成27年度（2015年度）大学院国際言語文化研究科博士課程（前期課程）
国際多元文化専攻 第2期 入学試験問題

試験科目	外国語：日本語
------	---------

受験番号	
------	--

(前のページの続き)

著作権法で定められている公表された著作物を使用した入学試験問題に該当する箇所については、本Webページでの公衆送付について著作権者より許諾を得ていないため、これを削除し、出典名等を記載することとします。

(杉原厚吉(2012)『大学教授という仕事 増補新版』水曜社、pp.48-52)

問題 II

- 問1. 下線部(1)～(3)の漢字の読みをひらがなで書きなさい。
- 問2. 筆者が研究指導をする上で留意していることとして本文で述べられている内容を二つあげなさい。
- 問3. 下線部(A)の教員にとって楽であろうと思われるかもしれないが、そうではないと著者が述べている理由を150字以内で説明しなさい。なお、句読点も字数に含める。
- 問4. 下線部(B)に研究指導というよりは共同研究をしているという感じで接するとあるが、これと対照的な意味で用いられている表現を本文中から抜き出しなさい。